─────────────────────  
メモ

【自分の原動力は何か】自分のコンプレックスを見つめよ。

ゴール：読者に自分のコンプレックスを見つけるキッカケを作ること

◆主張：自分のコンプレックスを見つけよ。（コンプレックスの説明）

◆理由：なぜか見つける必要があるかというと原動力になる。（経営者も持ってる）

◆コンプレックスの例：御大の例

◆推測：これは誰でも持っているけど、みんなコンプレックスを見ないふりをしているのかも。

◆失敗：じゃあコンプレックスを見つないとどうなる？→自分の原動力が間違った方向に動いちゃうかも

◆例：コンプレックスの重要性を自動車で例えてみる

◆コンプレックスの見つけ方：怒りではなく、もっとずっとモヤモヤしている感覚。

◆まとめ：あなたの原動力が見つかるキッカケになれば。そして、是非メルマガの感想にあなたの原動力を書く機会にしてください。自分のコンプレックスを書こうか悩み中的な。

◆事実例：自分の例→文字が多くなるので次号

モテたい→モテてやる！→

劣等感→心配された→落ち込んだ(やってやる)→好きなこと→やり続ける→成功

コンプレックス→原動力→（解消）→仕事→続ける→成功

→次号：自分のコンプレックス（詳細）みんなコンプレックス系の話が好き→掘り下げ

コンプレックスをみよ→理由（メリット）例え（車のガソリンとか石油とか電気とかで進む馬力みたいなもの）→間違った車で走っている可能性がある。コンプレックスを知ることで正しくガソリンを使える。有名になった人でなんでこの人有名になったんだろうと思うことがあると思います。それは自分のガソリンを無意識的かわかりませんが正しく使えているのだと思います。→定義→見つける方法→例→まとめ

─────────────────────

──自分

自分も昔から普通くらいで全然モテなかったんです。「もっとモテたい！」と思ったんです（笑）。

人は何かしらの「欲求とコンプレックス」を解決する何かしらの原動力としている。

・俺は美容師上がりの高卒です。自分の高校はスーパー進学校だった。小山台

・偏差値70くらい。滑り止めで、東工大（日東駒専）

の奥深くにあるグジュグジュしたものがコンプレックスです。

──

上から目線で、みんなから「お前の将来が心配」だと言われ続けていた。高校卒業してから自分も言われ続けると病んでくるわけです。

それで好きなことをやり続けた結果、この仕事のようにハマったことがあったということです。言い方悪いのですが、真面目な方はこの業界に来なかったりします。大企業のメーカーに行っているのですね。彼らがどうなったかというと、辞めてしまったのですね。その時に言われた一言が、「お前はいいよな」でした。それを聞いた時に「ドヤ！」とは思わなかったのですね。「こういう感じでみんな見てるし、自分のことしか考えないんだ」と思ったのですね。自分は先に辛い思いをしているので（ここは消すかも）

その時に言われた言葉が「お前はいいよな。ホリエモンと仕事できて……。金持ってんだろ？　奢れよ！」と言われました。

「全然いいよ。奢るよ。君よりお金あるし（ここは消す）」「ただ、これだけは言える。君よりも寝ないで、何倍も仕事をしたし、身体を削って仕事をしたし、安定もない。逆に君はそれをくれる？」って言ったのですね。「奢るのは全然いいよ。でも、俺が削った睡眠時間を奢ってくれよ」って言ったのですね。相手は何も言えないのですね。そういうコンプレックスが自分にもあったのが、今の原動力になっていると思っています。だからこういうふうになれたと思っています。

だから、みんな何かしらコンプレックスを持っていた方が良いと自分が思う理由だったりします。

──

自分のコンプレックスを見つめよ。自分が払拭したいくほどのものがあるか？振り返ってみるとおそらくですが、自分はそれが強かったのだと思います。

経営者の人も大体コンプレックスのようなものを持っていると思います。

人間ってコンプレックスを持っていると意固地になって解消したくなる生き物だと思うのです。

例えば、小さい時に貧乏だったことがコンプレックスだった人が、それを解消するために経営者になって成功するというケースは多いと思います。けれど、お金というのは、わかりやすくて、成功して莫大なお金を稼いだ瞬間どうでも良くなってしまうのですね。それだったらいいのですが、問題は、「モテたい！」「下に見られてるとか」みたいな悪なき欲求です。そういう欲求はなかなか解消されないのですね。終わりがないので、

単純な欲求です。その解決策というかその方法はいくらでもある。お金を持つとか有名になるとかイケメンになるとかの解決方法はいくらでもあって、自分ができそうなアプローチを取ることがいいと思います。

自分はまだまだですが、それが成功というか自分が楽しく仕事をしていくきっかけとなる。そのコンプレックスを解消するためには、嫌なことをしないといけないこともあると思いますが、本当に解消したいなら、できると思います。その細部の馬力みたいなものの差が出てくるとおもいます。（本当に頑張るか頑張れないかの差）。それすら手段と割り切ったりできますよね。コンプレックス解消できるなら多少嫌でもやるか！みたいな。

（以前にも書いたかもしれませんが、）自分は出版業界に入って、師匠と仕事をしていた時に思ったのですが、当時はすごい安い給料だったけれど、色々な人の話聞けるし、テレビとかに出る内容を自分が先に知れるじゃんと思ったり、表ではこうなってるけど、本当はこうなってるんだという裏情報を自分だけが知っていたりするんですね。みんな知らないで騙されてるなとか。アドレナリンが出まくりです笑　アドレナリンが出ることだと嫌なことも乗り越えれたりするし、リターン（利益）があればみんなやります。その利益がお金なのか、自己満（自分のコンプレックスの解消）なのか、人によって違いますが、

コンプレックスがあると、少し高いいいお店に行きたくなったり、色々発散します。けれど、それに飽きてしまったらどうなるか。それは、「何か面白いものを見てみたい」という自分の趣味の欲求に変わっていきます。大体はエンドレスなものなので、その欲求を追求し続けている状態になります。お金は結構解消されやすいのですが、モテたいとかこれを見てみたいとか認められたいとかどうなるんだろう？は解消されにくいのですね。

モテたいと言った方が面白いじゃん。

──

モテたいというのはどこがモテの頂上かわからないので厄介で、世界中の女の人が好きって言ってくれないと解消されないのかもしれません。このメルマガを読まれている方ならわかると思うのですが、あそこまで突き抜けると、近くで見ている自分でも、何がしたいのかよくわからない状態なのですね。

自分もその気持ちがすごくわかって劣等感に襲われて何度も逃げたくなりました。それでも好きなことをやり続けた結果、御大のような人たちと仕事ができていたりします。

「なんでこの人が有名なんだろう？」と思った経験はあると思いますが、その人はおそらく自分のエネルギーが分かっていて、エネルギーに合う車に乗って最適な道を進んでいるのかもしれません。